

し
ら
さ
ぎ

しらさぎ保育園
VOL53 NO.10
(通巻 633号)

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

☆2月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	できるかな	保育者に手伝ってもらいながらズボンを履いたり、オマルに座ったり色々なことにチャレンジ中。自分でできると嬉しくてどんどんやる気がわいてくる。
1才児	みんなで作ろう	はじめての共同作業。手形を押し、絵筆を使って色を塗り、色々な技法を楽しく経験しながらみんなで1つの作品を作る。
2才児	スリッパをそろえよう	進級に向かってスリッパを履いてトイレに行く練習をする。脱ぐ時はそろえる事を忘れずに。
3才児	言葉を交わそう	花いちもんめや色鬼など、友だちと言葉のやりとりをしながら、みんなで1つのあそびを楽しむ。
4才児	整理整頓	物を大切にあつかい、ロッカーやカバンに片付けることを習慣づける。
5才児	気持ちを伝えよう	思っていることを言葉で相手に伝える。また、相手の気持ちも考える優しさを育てる。

☆2月のプラン



- 2日(火) 節分(豆まき)
- 4日(木) 交通安全教室(5才児)
- 13日(土) 新入児説明会
- 15日(月) 弁当日

◀園庭開放 中止▶



わくわく保育～お正月あそび～

1月12日(火)～15日(金)

クラスごとにお正月あそびをしました。1・2才児一番の人気は、羽子板で風船をたたいたりつついたりする風船羽子板!! 色々な向きに動く風船が面白いようで、たたくたびに大喜びでした。福笑いも面白い顔ができて、友だちと楽しんでいました。3・4・5才児は、ホールですごろくをしました。サイコロを転がし、出た目を数えながら進むと「変顔をする」「うたを歌う」などの指示が…恥ずかしがりながらもしていました。あそび方やルールが簡単でみんなが楽しんでできるお正月あそび、これからも伝承していきたいと思います。



2月の絵画



◀3・4・5才児▶

～お話の絵～ 絵本を読んでもらった時の楽しい気持ち、わくわくした気持ちを絵に表現します。

ゆり組『好きなお話を選んで…』

1月に「ヘンゼルとグレーテル」のお話の絵を描きました。『お菓子の家』を描く子がほとんどで、「どんな家にする?」「こんな家があったらいいな」と子ども同士で会話しながら描いていました。2月は「ピノキオ」「3匹のくま」「浦島太郎」「花さかじいさん」等の絵本を読み聞かせ、その中から好きな絵本を選んで取り組みます。細かい所もしっかりと描くためにクレパスではなくペンを使い、絵の具で色を塗って楽しい作品に仕上げます。

ばら組『桃太郎』

子どもたちが大好きな昔話。ストーリーが分かりやすく、イヌ・サル・キジが登場し、きび団子をもらうシーンや鬼ヶ島での戦いのシーン等、イメージの広がる場面がたくさんあるので選びました。絵本の読み聞かせをしたり、劇あそびをしたりした後で描きたい場面を選びます。細かい所まで丁寧に表現できるように時間をかけて仕上げます。

すみれ組『はらぺこあおむし』

絵を描く前に絵本を読み、ごっこあそびや製作をして楽しみます。毎朝、日付を確認する時もストーリーを思い出して「月曜はりんご」「今日はいちごが4つ」など口々に言っています。何が出てくるか、何色か、あおむしはどんな大きさか等、みんなで話をしてイメージを膨らませます。どのシーンを子どもたちが選ぶのか今から楽しみです。

◀1・2才児▶

～共同製作～

大きな作品をみんなで作る楽しさを味わいます。



さくら組『もうすぐ春』

つくしやメダカを個人製作で作り、川や太陽を絵の具やフラワー紙を使って共同製作に挑戦します。この1年でたくさん製作をしてきました。次は、みんなで力を合わせてひとつの作品を仕上げます。お楽しみに。

もも組『おおきなかぶ』

土は手形で表現し、大きな空は初めて使う絵筆で塗ることにチャレンジ。お話の中心となる“おおきなかぶ”は土台に花紙を丸めて貼り、少し飛び出した立体で作ります。また個人製作は、かぶを引っ張る自分自身を作ります。初めての共同製作は、1才児らしいかわいなおおきなかぶの世界です。

保育者の声

ばら組 大久保愛実

2月の行事といえば節分。今年は2月3日ではなく2日だとみなさんご存知でしたか?調べてみると2日の節分はなんと124年ぶりだそうです。節分とは立春の前日にあたり、今年は立春が3日になっているため、1日ずれると書いていました。節分の日が固定ではないことに驚きました。今年は「鬼は外」「福は内」に加えて、「コロナ外」とコロナ終息を願いましょう!

<編集後記>

私は電車で通勤をしています。2度目の緊急事態宣言が発令されていますが、朝も夜も電車は満員です。窓は少しだけ開いていて換気していますが、あれだけ満員だと本当に換気できているのか不安です。長引くこの状況に慣れてしまっただけで気が緩みがちですが、目に見えないウイルスと戦うには、こまめな手洗い、うがい、消毒を徹底して行わなければなりません。ひとりひとりができることを実行して、コロナウイルスと戦っていきましょう。(花木)